

【2023 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/福祉学系】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等	
就労支援サービス		(理.作.社.精)必修 (発)選択	2	(理.作) 2 (社.精.発) 2.3	前期	
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー		
井出 輝美	講師控室	kyoumu		授業終了後に質問等受付		
授業の目的・概要	<p>&lt;目的&gt;「働く」ことの意味を様々な角度から学び、専門職による就労に関する支援について理解を深める。 &lt;概要&gt;教科書に沿って講義を進めながら、必要に応じて事例等を用いて具体的イメージが持てるようにしていく。</p>					
授業形式・方法	<input type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習)	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実技	<input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション	<input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク	
学習上の助言	生活の基盤となる労働について、日頃からニュースなどに関心を持つことで授業内容について具体的なイメージを持ちやすくなる。					
教科書	新社会福祉士養成講座 18 第 4 版 就労支援サービス/編:社会福祉士養成講座編集委員会/中央法規出版					
参考書	指定参考書なし。					
外部教材	指定教材なし。					
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針		
①	雇用・就労の動向と施策について理解し、説明することができる。			HSU(2)		
②	労働に関する法律と制度について理解し、説明することができる。			HSU(2)		
③	就労支援が必要な対象者と社会的背景について理解し、説明することができる。			HSU(1)、(2)、(6)、WP(1)~(3)		
④	就労支援に係る組織・団体の役割と実際について理解し、説明することができる。			HSU(2)、WP(2)		
⑤	就労支援に係る専門職の役割と実際について理解し、説明することができる。			HSU(1)、(2)、WP(2)		
⑥						
授 業 計 画						
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)			
1	オリエンテーション (授業の進め方、評価等についての説明、学習方法について理解する)	同時双方向型授業	シラバスを把握しておく。 教科書の内容を把握しておく。	4		
2	働くことの意味について考える。	同時双方向型授業	教科書の該当箇所を精読する。	4		
3	雇用・就労の動向と施策 労働市場の変化について学ぶ。	同時双方向型授業	教科書の該当箇所を精読する。	4		
4	雇用・就労の動向と施策 労働に関する法律と制度について学ぶ。	同時双方向型授業	教科書の該当箇所を精読する。	4		
5	障害者と就労支援① 障害者の就労の現状と就労施策について学ぶ。	同時双方向型授業	教科書の該当箇所を精読する。	4		
6	障害者と就労支援② 障害者雇用施策について学ぶ。	同時双方向型授業	教科書の該当箇所を精読する。	4		
7	障害者と就労支援③ 特別支援学校の就労支援について学ぶ。	同時双方向型授業	教科書の該当箇所を精読する。	4		
8	障害者と就労支援④ 障害者の就労・雇用における民間の取り組みについて学ぶ。	同時双方向型授業	教科書の該当箇所を精読する。	4		
9	低所得者と就労支援① 低所得者の就労の現状について学ぶ。	同時双方向型授業	教科書の該当箇所を精読する。	4		
10	低所得者と就労支援② 低所得者にかかる就労支援について学ぶ。	同時双方向型授業	教科書の該当箇所を精読する。	4		
11	専門職の役割と実際① 障害者福祉施策と雇用施策における専門職の役割について学ぶ。	同時双方向型授業	教科書の該当箇所を精読する。	4		
12	専門職の役割と実際② 低所得者の就労支援における専門職の役割等について学ぶ。	同時双方向型授業	教科書の該当箇所を精読する。	4		
13	就労支援の連携と実際① 就労支援における連携の過程について学ぶ。	同時双方向型授業	教科書の該当箇所を精読する。	4		
14	就労支援の連携と実際② 就労支援における連携の意義について学ぶ。	同時双方向型授業	教科書の該当箇所を精読する。	4		
15	就労支援の連携と実際③ 就労における連携の実際及び様々な働き方について学ぶ。	同時双方向型授業	教科書の該当箇所を精読する。	4		
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照					

【2023 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/福祉学系】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計	
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他		
		70	0	0	0	30	100	
総合力指標	知識・技術力	40	0	0	0	0	40	
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	5	25	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0	
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	5	5	
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	15	15	
問題を発見・解決する力		10	0	0	0	5	15	
評価のポイント						フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点						
試験	①	✓	学期末に定期試験を実施し評価する。試験は講義で用いたテキスト・配布資料から出題するので、予習復習を行い、理解を深めること。 ・試験形式（筆記試験） ・問題形式（選択式・記述式・穴埋め式）				試験解答例を Teams 上に提示する。	
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤	✓						
	⑥							
レポート	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
その他	①	✓	授業で学んだこと、関心をもったことや、質問を要約してリアクションペーパーで授業終了後に提出する。内容等を含め、積極的に学ぶ姿勢を評価する。				リアクションペーパーでの内容を授業で取り上げる。	
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤	✓						
	⑥							
備 考								
他 担 当 教 員	なし							
教員の実務経験	社会福祉士として高齢者、児童、障害者の相談援助を 12 年の経験。							
実践的授業の内容	教員が現場で担当している事例等を用いながら（個人を特定できないように加工修正、又は本人からの同意を得て）教科書の理論について現場の実践内容を踏まえて説明し、理論と実践双方から理解できるよう工夫する。							
そ の 他	<b>【受講する際の注意事項】</b> ・ Teams を使った同時双方向型授業を行う。授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を推奨する。 ・ 感染症及び社会情勢や状況に応じてシラバスの変更があり得る。 ・ 同時双方向型授業では講義中にフィードバックを行うが、できない部分については個別に返答する場合がある。							